

第137回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ (教区テーマ)

まなこ
『眼をひらく 心
こころ
をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時 2015年11月20日(金) 午後6時30分～8時30分

講 師 安藤 泰至 氏 (鳥取大学医学部准教授)

講 題 「どうにもならない私」を生きる—生命操作の時代—

日 程 午後6時30分 真宗宗歌・正信偈 (同朋奉讃式)

6時45分 講 義

8時15分 質問の時間

8時30分 恩徳讃・閉会

講師紹介

安藤 泰至 (あんどう やすのり)

鳥取大学医学部准教授。専門は宗教学・生命倫理・死生学。

1983年京都大学文学部哲学科卒業、1987年同大学院文学研究科(宗教学専攻)博士後期課程中退。2000年より現職。2006—2007年、米国ヴァージニア大学実践倫理研究所フェロー、同宗教学科客員研究員。日本医学哲学・倫理学会奨励賞(2002年)、鳥取大学科学研究業績表彰(2013年)。現在、日本宗教学会理事、日本生命倫理学会理事。2014年10月より日本学術会議連携会員。

著書

安藤泰至(編)

『「いのちの思想」を掘り起こす—生命倫理の再生に向けて—』(岩波書店、2011年)

安藤泰至・高橋都(編)

『シリーズ生命倫理学 第4巻 終末期医療』(丸善出版、2012年)



先生からのメッセージ

現代の医療技術は一見私たちの可能性を広げるように見えます。しかし、生老病死をはじめ「どうにもならないもの」をこうした技術が「どうにかしてくれる」わけではありません。私たちは「どうにもならないもの」が「どうにかなる」かのような幻想のなかで、「どうにもならないもの」に向き合う力を失いつつあるのではないのでしょうか。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」、お電話ください。TEL058-265-0033